



# 福島林業

No. **578**

題字 福島県知事 佐藤雄平



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

**10** 2012

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■特 用 材 産 物



# 「緑、雑感」

社団法人福島県造園建設業協会  
会長 櫻井 貞夫

当協会では、去る四月「花とみどりの復興支援ネットワーク」助成金を活用し、飯館村の仮設幼稚園・小学校へ環境緑化をおこないました。みどり美しいふるさとへ帰れない子供たちに、花や樹木で四季折々を感じて欲しいとの願いからでした。四月十六日には、全校生徒・全幼稚園児が参加して花壇に花の苗を植え、学校の環境が見違えるほど色づきました。また、協会青年部会では、本宮市の高木仮設住宅に、車止めに活用して頂くため、建仁寺垣七基を九月に設置し、仮設住宅の居住空間に風情を醸しました。住民の方々に、少しでも癒しになればと思います。

しかし、「みどり」は、人々の心を癒してくれるばかりではなく、防火や防風・土砂災害をも防ぐ機能があります。関東大震災では、樹林帯のあった上野公園等のオーブンスペースが、阪神淡路大震災では、町なかの鎮守の森が、また、周囲にクスノキの大木が配置された公園などが「焼きとまり線」となり、多くの生命を救っています。また、いわき市の新舞子海岸の松林は、江戸時代平藩主が、塩害により農作物が出来ないという農民の悩みから、松を植え、防風・防潮林を作り、農民の悩みを解消したといわれています。この林は松だけでなく、肥料木として、アキゲミ・タブノキ・ニセアカシヤなどの雑木も一緒に植栽されております。この混植松林植栽は、何と約四〇〇年も前の仕事であり、改めて先人の「みどりの知恵」には感心させられます。松だけでは津波は防げなかったことでしょう。

海岸防災林は、津波の威力を弱め、漂流物を捕捉するなどの機能とともに、景観、環境、風土、成長度合い等を考え合わせる必要があります。あの東日本大震災の津波により被害を受け、変色や塩害をおこした海岸防災林を目の当たりにする時、先人たちの「みどりの知恵」を生かしながら、再びあの美しい景観を回復させることが私達造園専門工事業者の務めであると強く認識するところです。あの「陸前高田の一本松」の神々しい勇姿も心に刻みながら。

「みどりが地球を元気にする」をテーマに今年も都市緑化月間が十月一日から始まりました。「みどりには力があります。」東日本大震災を経験したからこそ、なおさらその力の大きさ、深さ、広がりを実感しているところであります。

## 《も く じ》

とびら

「緑、雑感」

社団法人福島県造園建設業協会長 櫻井貞夫 … 1	
平成24年度 林業グループコンクール	
東北・北海道ブロックに参加して …… 2	◆
東北・北海道ブロックが開かれる …… 3	
ふくしま県民の森と「もりの案内人」 …… 4	
林道を訪ねて3,000kmシリーズ (第12回)	
「大滝線との出会い」 …… 5	

普及指導員通信 …… 6	
「ごちそう ふくしま満喫フェア」を開催して … 7	
木の施設 …… 8	
緑の募金 …… 9	
森林管理署メモ …… 10	
木連だより …… 11	
ふくしま東西南北 …… 12	
木材市況・はなしのひろば …… 13	



# 平成二四年度林業グループコンクール 東北・北海道ブロックに参加して

IORI倶楽部 武藤弘毅

我々IORI倶楽部は、川上から川下までの山にまつわる様々な関係者と連携し、奥会津地域における林業・林産業の振興を目的として掲げ二〇一〇年に結成された団体です。我々が活動する奥会津地域の山は、様々な資源にあふれた山です。そして山と共に生活してきた人々の長年培ってきた文化の蓄積も大きな意味での山の魅力であると考えております。これらの価値や魅力を多くの人と共有し、山元へ利益が還元できるための体制づくりと、山を介して行われる交流によって、地域の振興に貢献できるような団体を目指し活動しております。



活動発表の状況

活動する地域の山の現状と共有できる山の価値や資源を活かすための仕組みづくりについて ②IORI倶楽部が携わった福島県における木造応急仮設住宅建設の事例、地域材を用いた住まい造りと森林資源の高付加価値化についての事例の紹介 ③地域の山の豊かさを伝える各種取り組みの三点についての発表を行いました。

北海道・東北各県の発表の内容を拝聴した感想は、各県における地域の特色は気候や風土の条件によって様々ですが、森林経営を難しくしている本質的な問題は各地域とも同じであるという実情を改めて感じることができました。また各県の発表が終わった後に行われた、秋田県立大学木材高度加工研究所教授高田克彦先生のお話は、日本の山の現状と木材の総合的・循環的利用を踏まえ、地域の特性（地理的状況や森林資源の特性、市場のニーズなどの複合的な要素）をしっかりと念頭においた具体的な考察が、今後の地域における持続的な森林経営には不可欠であるということを感じさせてくれました。地域の山にまつわる現状をしつかり把握し共有しながら、いかに効率的に事業を組み立てていくかが今後の大きな課題であると感じました。木は生き物であり材として活用されるまでには一定の期間が必要で、地域の高齢化に伴う担い手育成



現地視察

の課題も含め、事業が一過性のものではなく長期的なビジョンで継続できる体制と、森林産業という大きな川の流れに対し、絶えず水が停滞せず、流れる川をどうやって消費者まで効率的に流していけるか、その戦略が問われていると感じます。そのためには消費者に対する「気遣い」と山からもたらされる材に対する「木づかい」を川上川下が連携し絶えず意見を交わし、共に考えていくことの必要性を強く感じました。林業、林産業の振興を通じた地方活性が求められている中、今後の我々の活動が地域の山に元気を取り戻しながら奥会津の山里の振興に繋がれば幸いです。

# 平成二四年度林業グループコンクール 東北・北海道ブロックが開かれる

会津農林事務所森林林業部 副主査 長澤 一太郎

東北・北海道ブロック平成二四年度林業グループコンクール及び第五二回林業グループ交歓会が、九月四日(火)から五日(水)にかけて、秋田県鹿角市の大湯温泉郷「ホテル鹿角」にて開催されました。

今回のコンクールでは、秋田県・秋田県森と水の協会・全国林業グループ連絡協議会の主催により、東北・北海道の林業研究グループ等から一〇〇名が参加し、活動発表・講演・意見交換などが行われました。本県からは、代表発表者であるIORI倶楽部(三島町)などから五名が参加しました。

初日(四日)は開会宣言の後、秋田県農林水産部の上練三森林技監および全国林業研究グループの齋藤正常任理事より主催者あいさつがあり、林野庁研究保全課の岡本貴史後継者養成係長の祝辞に続いて、コン

クルの開催となりました。このコンクールは、各道県より推薦された代表グループが、それぞれの活動状況や体験活動、その成果などについて発表するものです。

本県の発表者であるIORI倶楽部は、会津地方の林家、製材業者、工務店、建設業者など幅広い職種のメンバーが連携し、「山からもたらされる恵みの循環」と「山とまちを結ぶ様々な取り組み」によって山の豊かさを多くの人々の日常に届けることを目的として設立されたグループです。今回、IORI倶楽部事務局の武藤弘毅氏が、「山とまちを繋ぐこと〜会津の山の底力で福島の復興を支える仕組みづくり」と題して、地域材を利用したモデル住宅の建設、板倉構法による木造応急仮設住宅の建設、そして今後の活動の展望について発表しました。

次に、秋田県立大学木材高度加工研究所の高田克彦教授が「森林資源の効率的利活用に向けた川上・川下の連携」と題して講演を行いました。

その後、審査報告と講評があり、東北・北海道ブロックの代表となる最優秀賞には、「『森林へ行こう!』を楽しく山へ入れるように!」を発表した庄内林業研究会(山形県)が、次点の優秀賞には「雪害の発生状況と今後の対策について考える」を発表した雄勝地方林業後継者会(秋田県)が選出されました。

二日目(五日・最終日)は現地視察となりました。まず、国重要文化財に指定されている日本最古の芝居小屋である「康楽館」にて、せりの仕組みや楽屋など、舞台裏まで丁寧に説明を受けながら見学し、古き良き木造建築の素晴らしさを再確認し

ました。その後、地元が生産森林組合である西道口下モ平生産森林組合の所有林に移動し、森林施業の方法、畑わさびの生産活動、地域住民との関わり合いなどについて説明を受けました。

東日本大震災から一年半が経過しました。コンクール後の交歓会でも多くの方々とお話しをさせていただきました。機会がありました。決して順風とは言いえない林業を取り巻く情勢の中、様々なアイデアを駆使し、地域に密着した活動を熱意を持って精力的に行っている方が多くいることがとても印象的でした。メディアや世間一般では、大震災の後、「絆」という言葉が多く使われてきました。地域に密着した活動を継続して行ってきた林業グループこそ、その「絆」の力を発揮することのできる数少ない団体なのかもしれません。その活動の中に、地域で林業をするということの意義、そして今後の復興に向かうためのヒントがあるような気がしました。



# ふくしま県民の森と「もりの案内人」

（財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 弦間 一郎

東日本大震災発生直後、一部施設に破損は見受けられましたが、電気・水道などのインフラはストップせず、当日の利用者にも被害はありませんでした。しかし、原発事故による放射性物質の飛来という実被害と、それに伴う風評被害には、現在も多大な影響を被っています。

ここでは、公共施設としての「福島復興への取り組み」を中心にレポートします。

## 1. 避難所等としての施設提供

震災直後の平成二三年三月二八日より三ヶ月間、富岡町から避難された約一〇〇名の町民に対し、コテージ二〇棟を提供させていただきました（大玉村災害対策本部からの依頼）。また、施設内ビジターセンターにある温泉施設は、県民の方々や復興支援のために福島県を訪れた方々のために、無償提供を行いました。

## 2. 安心できる森林の提供

情報提供…平成二三年七月より、施設内の空間放線量を測定し、毎週一回ホームページで公開中（施設

内二〇カ所）。

放射性物質の除染…オートキャンプ場を中心とした森林除染を実施中。（福島県、一部財団実施）

## 3. 絆を深めるための場の提供

平成二三年秋口より、多くの人が集うことができるというキャンプ場の特色を活かすため、施設利用料金の復興支援特別価格を設定、二三年度では五〇割オフの県民割引を、二四年度では三〇割オフの団体割引を実施中。

## 4. 施設（＝森林）利用者増への取り組み

### 〈現状〉

例年、森林環境教育や野外レクリエーションを目的とした県内の学校利用が多数ありましたが、平成二三年の初夏から冬にかけて、学校利用がほぼゼロの状態。また、親子連れを中心としたオートキャンプ場利用者も平成二三年の夏（利用のトップシーズン）では、前年の七五割減となりました。

原発事故の影響で、県内の学校を

はじめ、子供たちが外遊びや野外活動が出来にくい環境になったためです。

### 〈新たな取り組み〉

#### (1) 風評被害の打開

従来の利用者層に対しては、正確で素早い情報を提供したり、新たな利用プログラムを工夫することで信頼の回復に取り組んでいます。積雪期などの空間線量が低減する期間に楽しめる野外プログラムを開発・提供したり、室内遊び場を設置するなど、少しでも安心して森林に足を運んでもらえるよう取り組んでいます。

#### (2) 新たな利用者層へのアプローチ

県の観光関連団体と協働し、風評被害の影響を受け難い「オートバイ・ライダー」を全国から誘致し、森林に滞在することの魅力をアピールする取り組みを始めています。また、県教育委員会で企画した「ふくしまっ子体験活動支援事業」とリンクし、団体割引制度や団体対応プログラムを充実させ

ることで、県内の子供を主とした団体の誘致を行っています。

以上は震災後の「ふくしま県民の森」における取り組みの一部ではありますが、原発事故という未曾有の事態を乗り切り、福島を復興させるには一つの事業者の力だけでは何も出来ないということを実感しています。

ふくしま県民の森では、「福島もりの案内人の会」と連携を今まで以上に強め、よりたくさんの方々が森林を訪れ、森林の魅力を感じながら豊かな暮らしを取り戻すためのお手伝いをすすめています。



ふくしまっ子事業を活用した団体利用（森林の観察会）



## 林道を訪ねて3,000kmシリーズ（第12回）

# 大滝線との出会い

技術士 中村多伸

路線名	大滝線	幅員	5.00m	延長	
市町村名	会津美里町松阪地内				
開設年度	昭和62年～平成24年現在	事業名	広域基幹林道開設事業		

平成24年6月1日に同僚の渡辺寅雄さんと共に、現地で矢吹課長と斉藤監督員の案内を受け現地に入ることが出来た。

### 1. 大滝線との出会い

- ①当該路線とは、昭和57年に赴任した会津若松管内で出会うが、当路線は旧会津高田町松阪に位置し、駐在所が存在する頃に新任地として約2年間お世話になった地で、地形や環境はよく承知していたので、当時から広大な森林の活用については興味があった。  
計画時点では、フレッシュリゾート構想もあったが、「新宮川ダム」の建設が具体化して、ダム建設の関係する集落の集団移転計画と生活基盤の確保等が懸案事項となり、ダムの上流である約3,000haの森林を活用した就労と生計を確保するテーマが出され、集落の意見等を参考にした、広大なビジョンを策定することとなった。
- ②当利用区域は、その大半が町有林で土地の制約が少なく、集落の人々の生活が山菜・キノコ・伐採等林業生産による収入が大半で、林業による依存度合いが高い集落であることが、この計画の特色となり素因となった。
- ③このため、旧会津若松林業事務所内にプロジェクトチームを編成して、山菜の種類・キノコの生産量・伐採等の就労日数等集落等の人々の生活分析を行い、ACを中心とした経営計画や林業公社職員には造林計画等それぞれの専門分野を担当する総合的な全体計画を作成した。
- ④計画の内容は、広大な面積であるため「モザイク」を作成し、それぞれの計画をモザイクに描写して、理解度を深めるように努めた。
- ⑤経営課・総務課・事業課（当時は3課体制）が合同での計画は勿論のこと、現地調査や計画構想を作ることは珍しい協同プランであった。この計画を福島県職員提案に応募してグループでの「優秀賞」を受賞したことは、この構想の実現に大きな原動力となったように思えた。

### 2. 計画実施の障害

- ①当該路線の計画策定後に絶滅危惧種である「イヌワシ」が生育しているとの保護団体からの通報により、当時の森林保全課が確認して大きな話題となったこと。
- ②このため、生息環境に即した対応が求められ、生息の確認や保護対策等で連日の報道や保護団体との対応を求められたこと。
- ③谷ヶ地地区からは、清流を守る側から岩盤等の飛散防止対策等が求められ、工事の進捗が大幅に遅延することになる。
- ④同時に「クマタカ」の生息が確認され、計画路線との競合が生ずる等、次から次へと新たな障害が発生することになる。それぞれの担当者がリレー方式で引継ぎ現在もなお、工事期間等の制約の中で実施されていた。
- ⑤本県において、この路線のように計画や実施段階で、環境問題が大きな課題をもたらした例はないと思うが、本庁も含めた職員の強い意志により、現在工事が継続され残延長約3km程度になったとのことで、一日も早く完成することを願っている。

### 3. 現地の状況

- ①谷ヶ地工区は急峻で岩盤が大半で高経費となっているが、予測の範囲であり、前記した保護団体等の問題から工事が遅延したとのことであるが、山場は越したとの説明がありホッとしている。
- ②博士工区は等高線に沿った線形であり、路面や法面は安定しており、小動物保護の側溝等は機能していた。



### 4. 今後の課題

経年経過して、前記した構想がバトンタッチされ、地タケを中心とした林産物の生産環境の整備は実現するのか。ブナを原木にしたナメコ生産は出来るのか等々、林道等の生産基盤整備だけで終了することのないようにしないと、鳥類や清流保護に費やした多大のエネルギーとの採算が合わないのでは辛い。林道は手段的な施設であり、広大な構想が実現されるように一日も早くスタートして所期の目的が果たされ、この林道が多くの人々に活用されることを願っている。幸いなことに、当時のチームの一員であった星博一君が担当課長で在任しているので、何かの運命と思い構想の実現に期待している。



# 木製品の製作による建築技術者養成支援の取り組み

■相双農林事務所  
林業普及指導員 小野田 義 宏

現在、少子高齢化が進むなか、本県の活力を維持していくためには、各産業界で人材の育成が重要な課題となっており、そのような中でも、ものづくりの現場においては新技術への対応や問題解決、利用者のニーズを形に造り上げる等、より高い能力が求められています。当管内には、能力開発校に短期大学校が併設された県立テクノアカデミー浜校（以下「テク浜」）が設立されており、その中でも建築学科は大工等の木材産業に携わる技術者を多く輩出しています。

当管内では、平成19年度から森林環境税を活用した「ほっと」スペース創出事業を実施しており、公共性の高い県有施設等へ木製品を設置し、木製品の利用推進を図っています。平成22年度からはテク浜と連携し、事務所は木製品の設置を、テク浜では学生の技術力向上をそれぞれの目的として事業に取り組み、昨年度は、東日本大震災により避難を余儀なくされている方への安らぎの場を提供するため、木製のテーブルやイスなどを応急仮設住宅集会所等へ設置したところです。

テク浜との連携3年目となる今年度は、設置する施設に訪問し学生も交えて企画会議を行うなど、調査からデザイン、製作まで内容を深化させながら取り組んでいます。今後も木製品の製作を通じ、お互いの連携を深めていきながら、木の良さを演出できる建築技術者の輩出のお手伝いと、木材利用のPRをしていきたいと思ひます。



## テク浜との連携による木製品の設置箇所と製作内容

平成22年度	学校(養護学校・テク浜) 案内板7基・受付テーブル2基
平成23年度	仮設住宅集会所等 テーブル2基・イス12基・下駄箱2基
平成24年度	福祉施設 足置き台6個・CDラック1基・ベンチ1基(製作中)



平成23年度 仮設住宅集会所等に設置した  
テーブル・イス・下駄箱

詳細については、今後開催される普及指導職員の研修会において報告する予定です。

### きのこで地域を元気に (社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



福島N4号



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富

○その他各種種菌

○菌床

- ・シイタケ
- ・ハタケシメジ
- ・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木      ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2    Tel 024-947-2188    Fax 024-947-6926  
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp    URL: http://www.f-kinoko.org

# 「ぶちそう ぶくしま満喫フェア」を開催して

福島県農産物流通課

平成二十四年九月八日(土)～九日(日)の二日間、ビッグパレットふくしま(郡山市)において、「ぶちそう ぶくしま満喫フェア二〇一二年」を開催しました(主催 ふくしま・地域産業六次化推進協議会、福島県、共催 東邦銀行)。

三回目を迎えた今年は、過去最大規模の二〇二事業者の出展により、次のエリア分けにより、ブース展開を行いました。

- 「行列のできる地域グルメエリア」 Ⅱ 県内各地の行列のできる店が集結
- 「六次化新商品エリア」 Ⅱ ふくしま農工商連携ファンド等を活用して開発した新商品の販売
- 「温泉自慢エリア」 Ⅱ 温泉旅館等が県産農産物等を活用して開発された温泉料理の販売
- 「駅弁・道弁エリア」 Ⅱ 県内有名駅弁や道の駅で開発された道弁の販売
- 「日本酒エリア」 Ⅱ ふくしまの蔵



オープニングセレモニー

元が多数参加、福島県ブランド認証酒や新商品を販売

- 「スウィーツエリア」 Ⅱ 県産農産物を活用したケーキや和菓子、ジェラートなどの販売
- 「安全・安心エリア」 Ⅱ 「ベルトコンベア式食品放射能検査機」による米の全袋検査デモンストラーションで安全性をPR

ステージイベントでは、今回がデビューイベントとなる「ぶくしま八



フェア会場の様子

重隊」のステージや、子どもたちに野菜のおいしさを伝える「それいけ!アンパンマンショー」等を開催しました。また、フェア会場からふくしまFM「カウントダウン:Jp」の公開生放送を行い、「ぶくしまの食の魅力」を全国に発信しました。

二日間で四八、〇〇〇人が来場し、本県の豊かな農林水産物や特色ある六次化産品などの「食の力」を県内外に発信することができ、東日



米の全袋検査機のデモンストラーション

本大震災や原子力災害からの復興を着実に進めている本県の姿を示すことができました。

また、併催事業として七日(金)には、「ふくしまフードフェア二〇一二」が開催されました(主催 東邦銀行。後援 ふくしま・地域産業六次化推進協議会、福島県)。食品産業を中心として県内九八事業者が県内外の流通・小売業のバイヤーとの個別商談会に臨みました。

今後も、関係者の皆さんと協力して、福島県産農林水産物を活用した六次化商品のPR、販路拡大に努めてまいります。





改築工事にあたり、内装材にやわらかな手触りやあたたかみを感じられる素材として地元いわき産等の木材が使用されましたので紹介します。

### 赤井小学校(生徒数三二名)

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には地域の避難場所となるなど施設の役割は重要なものとなっています。

いわき市では、児童生徒等の良好な教育環境の確保と地域住民の安全と安心の確保に資するため学校施設の耐震化を進めており、平成二七年末までに市内全ての学校施設の耐震化を完了させることとしています。

このうち、市内にある赤井小学校及び赤井中学校の屋内運動場については、市町村合併年度(昭和四一年度)以前の建築物で老朽化が著しいことから、赤井小学校については平成二二〜二三年度、赤井中学校は平成二二〜二三年度に改築工事が実施されました。

改築工事は平成二三年度のいわき市優良建設工事として表彰されています。(写真1)

### 赤井中学校(生徒数一九七名)

赤井中学校屋内運動場は延べ床面積一、〇二四平方メートル、構造は鉄

骨造り、木材使用量は四八・六立方メートルで全て国産材を使用しています。東日本大震災の影響により資材の入手が困難であったため、入手可能な木材により施工されましたが造作材等については県産スギ材が使用され、木の温もりが感じられる施設となっています。なお、当改築工事は平成二四年度のいわき市優良建設工事として表彰されています。(写真2)

いわき市では今回紹介した二施設のほか、高坂幼稚園園舎、植田小学校及び藤間中学校などの屋内運動場

について改築する計画となっており、改築にあたり、設計仕様の中で可能であれば木材の地産地消に取り組むことにしています。

また、いわき市では東日本大震災で被災した集会所六棟が復興交付金事業により木造集会所として採択され、約一三八立方メートル程度の地域材が利用される見込みです。現在、平成二五年度の完成に向け実施設計を行っており、今後、木材の持つ温もりが感じられる施設として多くの市民の方に利用されることが期待されます。



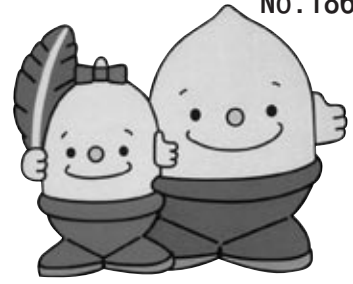
(写真1) 赤井小学校屋内運動場



(写真2) 赤井中学校屋内運動場

緑の募金コーナー

No. 186



長谷川昭三氏 (いわき市遠野町) が森の名手・名人に!

国土緑化推進機構が選定する「森の名手・名人」の野鍛冶部門でいわき市の長谷川昭三氏が選ばれました。

長谷川氏は現在八三歳、十五歳から野鍛冶を始め、家庭の包丁から山仕事の手斧や農具、鉋やノミまで制作・修理しており、市内で唯一の鍛冶屋として地元いわき市のみならず県内外から注文を受けています。

六八年間という長い実績と卓越した技術を有し、昭和六〇年には、いわき市技能功労者表彰を受け、現在も「磐城手業の会」や「匠の業」体験講座などで活躍されています。

これからも、益々お元気で活躍されることをご期待申し上げます。



「森の名手・名人」に選ばれた長谷川昭三さん

永田壮三氏 東北北海道地区緑化推進協議会 緑化功労者表彰

前福島県もりの案内人の会代表理事の永田壮三氏が十月四日岩手県盛岡市で開催された東北北海道地区緑化推進協議会総会席上において緑化功労者表彰を受賞されました。

永田氏は平成十一年に福島県もりの案内人に認定され、平成十六年に会長、さらに平成十九年にNPO法人設立に大きく貢献し、設立と同時に代表理事に就任。本年五月に退任するまで代表理事として会の発展に大きく寄与しました。

小中学校の森林環境学習をはじめ、公民館等の生涯学習、企業等からの



表彰式記念写真



緑化功労者表彰を受賞した永田壮三さん

依頼を受け、自然観察や木の枝クラフト制作などを通して、人と森林との未来を考え、森林と共生する自然環境づくりを目指し緑化の推進や次代を担う青少年の育成、森林ボランティア活動に大きく貢献しました。このような功績により、この度の受賞となりましたが、心からお祝いいたしますとともに、氏のさらなるご活躍をお祈りいたします。

うつくしま育樹祭に参加しよう!

「復興 ふるさとの森」(第十回うつくしま育樹祭)が開催されます。

とき 十一月三日(祝)

十時〜 受付

ところ 県民の森(安達郡大玉村)

育樹活動、植樹、自然散策など森林づくりや緑と親しむイベントや木工クラフトなどの楽しいコーナーも設けました。

また、参加者全員に苗木のプレゼントや豚汁のサービス、さらに抽選で景品が多数あたるイベントです。

申し込みされていなくても当日参加でも大歓迎ですので、ご家族そろってご参加下さい。



団体のページ

森林管理署メロ

# 福島森林管理署 白河支署の取組

福島森林管理署白河支署長  
相原 慎二

福島森林管理署白河支署は、阿武隈川森林計画区の南部二市五町六村の地域を管轄し、そのうちの八市町村の国有林、約三万四千haを管轄しています。

白河支署の業務運営にあたっては、公益的機能の維持増進並びに地球温暖化防止対策のための間伐等の森林整備の推進、及び東日本大震災等による被災森林の復旧による地域の安全確保等、国有林野事業として取り組みを推進しています。

また、平成二年度に地元の理解を得て、阿武隈山系の国有林に、「日光・吾妻山地緑の回廊」を設定しているところですが、緑の回廊の中には、地域の自然特性を代表する植物群落等の分布が甲子・二岐周辺で確認されており、現在それらの森林を保護林に設定することを検討しています。また、管内にはスギを中心に優良な資源を



有していることから、木材の安定供給にも取り組んでいるところです。

一方、管内でも東日本大震災をはじめ、台風及び局地的な大雨などを要因とした土砂流出災害などが発生しています。復旧については、緊急性等を考慮し、随時復旧治山工事を計画・実施しているところですが、全体的な復旧・復興事業の増大に伴い、技術者等が確保できないなどの要因から、実施に至らない工事も発生しています。また、実施している箇所にあっても度重なる大雨により同一地区内での複数の災害発生などから、工事を中断せざるを得ないなど、復旧へは地域の理解と連携した取組が必要となつてきています。

また、東日本大震災による福島第一原発事故に伴う放射能汚染は、管内全域が汚染状況重点調査地域に指定され、除染作業が進められています



復旧治山（天栄村）



造成工事中の仮置場（古殿町）

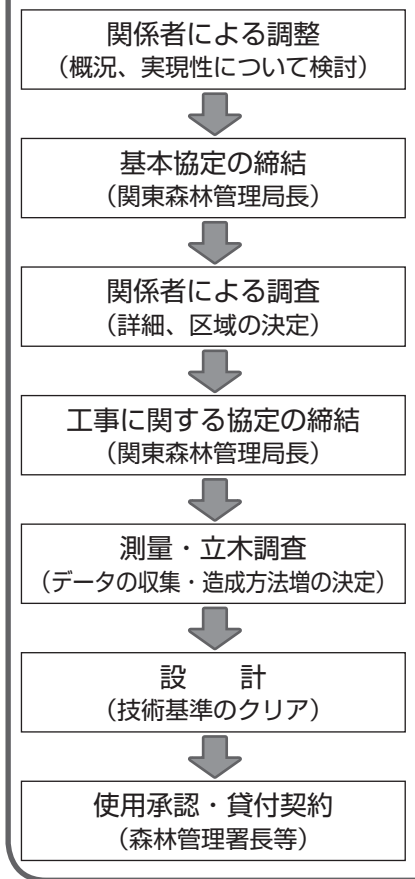
が、除染にあたり発生する汚染土壌等の仮置場の設置が大きな課題となっています。こうした中、本年七月上旬に古殿町長と関東森林管理局長とで「除去土壌等の仮置場としての国有林の貸付に係る基本協定」及び「福島県石川郡古殿町における除染作業実施に伴う除去土壌等の仮置場設置工

設置を検討されています場合は、「貸付の流れ」を参考に管轄する森林管理署等へご相談願います。福島森林管理署白河支署では、引き続き、森林が持つ公益的機能の維持増進、災害復旧等の事業を通して地域に寄与して参りますのでよろしくお願いたします。

事に関する協定」が締結され、同月下旬には、福島森林管理署白河支署長と貸付契約が締結され、現在、設置工事が進められています。

なお、国有林内に仮置場

## 貸付までの流れ



木連だより

秋田大型製材工場  
アスクウッド

秋田市河辺に今年六月完成した秋田製材(協)の大型製材工場(通称アスクウッド)をこの度視察見学してきた。本県の製材工場にとっても、スギ材製材品の生産・流通に大きな影響を及ぼすことから、その概要について紹介します。

一、設立までの経緯

秋田県にも大型製材工場が必要との建設構想から十四年、当時の寺田知事の「規模の大きな工場建設は既成の中小工場の経営を圧迫する」との考えから理解を得られず、現在の佐々木知事の決断で実現することとなった。

・建設地

秋田市河辺戸島字七曲台

「七曲臨空港工業団地」内

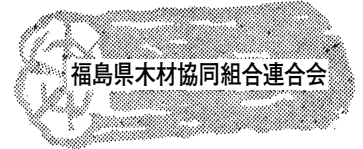
・敷地面積

九九、四一一平方メートル(借地)

二、工場の概要

(1)総事業費

約二四億円(一／二補助)



大断面集成材による製材工場

(2)主要建物

①製材工場棟(木造大断面 二、八八〇平方メートル)

②小割り修正挽き工場棟(木造大断面 二、三六三平方メートル)

③管理棟、休憩棟(木造)

④製品保管庫二棟(木造大断面 一、五二二平方メートル)

(3)主要設備

①原木自動選別機 一基

②リングバーカー 一基

③ツインバンドソー 二基

④横型帯のこ盤 三基

(4)原木の集荷

①原木消費量 年間約一五〇、〇〇〇立方メートル

②原木の八割を秋田県内森林組合から残りを素材生産業者から購入。

③原木の長さ径級

長さは三メートル、三・六五メートル、四メートル、径級は一八センチメートル、二二センチメートル、二四センチメートル、二八センチメートル、三割、五割

④価格

三ヶ月ごとに見直し、現在は工場着 九、〇〇〇〜一〇、〇〇〇円/立方メートル

(5)製材品の生産と販売先

①製材品

・集成ラミナ 四〇、七六〇立方メートル(県内販売)

・柱、小割等の一般製材品 三九、一六〇立方メートル(うち県内販売一

二、〇〇〇立方メートル、県外二七、一六〇立方メートル)

②その他副産品

・チップ 三三、〇八〇立方メートル、オガ粉 三〇、〇〇〇立方メートル

三、感想(課題)

(1)採算性

・ほとんどの設備機械が自動でありながら作業員の人数が多い様に感じられる。従業員六五名(うち製造作業員五六名)

・主力製材品が集成材ラミナ(板材)であり単価とクレームの問題が

(2)製材品の品質

秋田スギの品質が思ったより悪い。特に乾燥製材品の色つやが良くないし、虫跡も目立つ。

(3)冬場の原木製品管理

除雪凍結原木の製材と、屋根だけの製品保管庫

乾燥製材品 →



← 製品保管庫





はなしの  
ひろば

# 里山

家の前に道路を挟んで〇・二坪ほどの雑木林がある。昔、この近辺の農家はどこでも養蚕をしており、春先や秋口の寒さに対する蚕の暖をとるため、専用に埋薪炉という炉を家の中に作り、そこで使う薪を近辺の雑木林から調達していた話を、地区の古老から聞いたことがある。コナラやクヌギといった上質の薪は埋薪炉の燃料に、サクラやクリ、カエデなどの雑木は、家の煮炊きや風呂用に使用したという。やはりここでも「オカイコ様」である。家の前の雑木林の種類は、高木はコナラを主体にクヌギ、ウワミズザクラ、アカマツ、クリであり、中低木は、ウリハダカエデ、コバノトネリコやオトコヨウゾメ、ヤマツツジ、ガマズミなどが林縁にあり、昔の薪炭林として利用された里山の植生がそのまま残っている。当時と異なるのは、その大きさをさだめよう。今のコナラやクヌギの林縁木は直径三〇センチを超えるものもあるが林内は細く樹高だけが高い株立ちのものが多い。当時は見ることのない里山の状態だろう。もう二つ当時と違うと思われるものがある。手入れがされていないがために、林縁はクズやフジに覆われ、枯れ始めている木もある。もう一つは、林床にササが繁茂し、次世代を担う高木の幼樹が見られないことである。このままでは、里山はいずれササ原になってしまうのではと心配している。

「生物多様性国家戦略二〇一〇」の中では、四つの危機を掲げている。第一は人間活動や開発などによる危機。第二は里山・里地など人間活動の縮小による危機。第三は人間により持ち込まれたものによる危機。第四は地球温暖化による危機。とされている。

第二の危機のように、薪炭林や農用林などの二次林、採草地などの二次草原は、その環境に特有の多様な生物を育んできたが、人間による攪乱の度合いによりモザイク状に入り組んでいた生態系が、攪乱を受けなくなることで多様性を失い、里山・里地に生息してきた動植物が絶滅危惧種として数多く選定されている状況である。

国や地方公共団体、企業やボランティア、私たち一般国民も含めた多くの人々が、生物多様性の保全や回復に取り組み始めた矢先の「三・一一」震災や津波被害に加えて原子力発電所事故により放射能の汚染を受けた福島県の里山が、一段と加速される第二の危機の影響でどのようなようになってしまふのか心配される。

安達董風

## 表紙の写真



### 「特用材産物」

第8回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した原田和夫さん(伊達市)の作品。

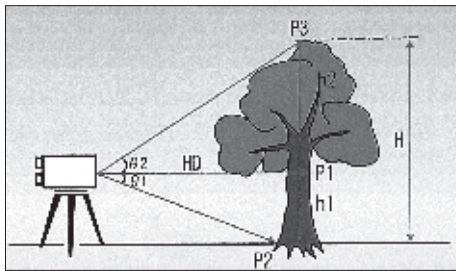
### 編集

### 発行

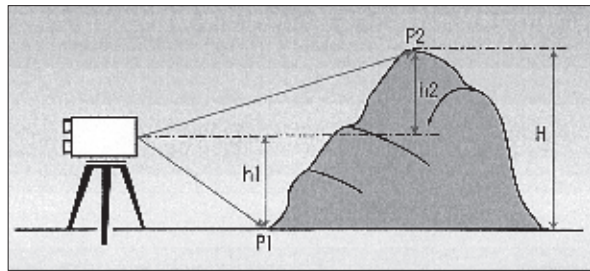
福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
福島県農林業公社  
森林総合研究所福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
相馬 雅俊  
陽光社印刷株式会社  
(定価 六三〇円)

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

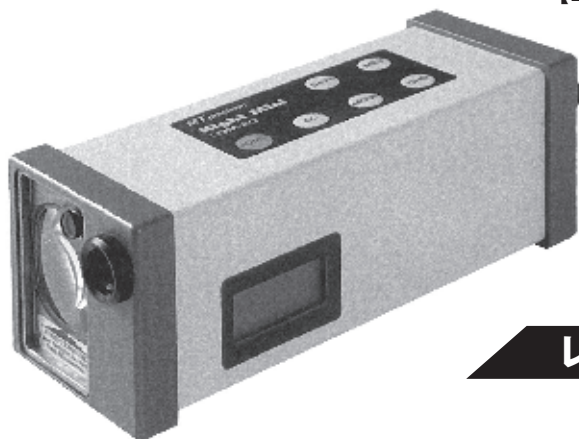


2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

## レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

### 株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704



# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



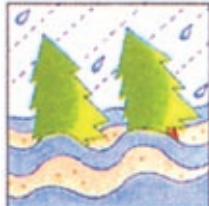
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



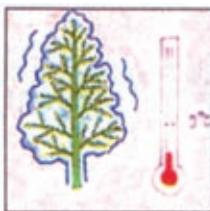
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課  
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

## GP-45V グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7  
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!

大地のめぐみ、まっすぐ人へ  
**SCC GROUP**  
住化グループ

# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な植栽木を守る**

ヤシマレント

**蜂さされ防止**

ハチノックL (巣退治)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る  
住化グリーン<sup>®</sup>の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

**くん蒸用生分解性シート**

ちゅらシート (茶・白)  
与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



**住化グリーン株式会社**

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

排気量 **18.3cm<sup>3</sup>**  
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



**G2000T** EZ-START

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)  
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm<sup>3</sup>**  
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



**G4211EZ** EZ+3+

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)  
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを追求したハンドルと  
思いのアクセルワークが可能なトリガーレバー。



**BC2711DW1-EZ**

・防振ハンドルブラケット  
・トリガーレバータイプ  
チップソー ¥79,380(税込)  
笹刈刃 ¥78,330(税込)

**ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店**  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1